



Smile Home

Vol.45

2010年
7月号

contents

◆ごあいさつ

◆固定資産税の優遇

◆ガラス交換でエコ

◆節水裏技にご用心



暑中お見舞い 申し上げます

平素は、格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年はずっとに比べ、雨の日の多い梅雨となったような気がします。

長期天気予報によれば、8月は晴れの日が多いと予想されていますが、

戸外でのレジャーやお仕事での熱中症にお気をつけ下さい。

これから先も、当分猛暑が続きそうですが、充分ご自愛なさり、

健やかな夏を過ごされますようお願い申し上げます。



お盆に向けての網戸の修理・畳の新調や畳表替えのご用命など、お気軽にお申し付け下さい。

また、設備メーカー等のお盆休みは長期に渡る場合が多いので、修理が確実に間に合うように、

ガスコンロや給湯機等の調子の悪い機器がありましたら、お早めにお知らせ下さい。

* ガラス交換でエコ *

冷房しても窓から冷気が逃げってしまう真夏は空調費がかさんでしまいます。解決手段の**住宅版エコポイント対象の窓の断熱リフォーム**（①内窓の新設②外窓の交換③ガラスの交換）のうち今回は、③のガラスの交換（既存のサッシ枠はそのまま壁を壊すことなくガラスだけを交換）をご紹介します。ガラスの厚みや組み合わせるガラスによって防犯性能や断熱性能が変わってきますが、使われる複層ガラスの例をご紹介します。（1窓あたり60分もあれば工事完了）



～ アタッチメント方式 ～

フレームと複層ガラスが一体になったものを既存サッシの溝にはめ込む方式

安心 省エネ 快適 簡単施工

※交換ガラス1枚当たりのエコポイント数（ガラス1枚あたりの面積で発行ポイント付与）

ガラスの面積	1.4㎡以上	0.8㎡以上1.4㎡未満	0.1㎡以上0.8㎡未満
ポイント数	7000ポイント	4000ポイント	2000ポイント

エコポイント対応（ガラス交換）複層ガラスの例 地域区分Ⅳの場合

	特長	イメージ	防犯性	断熱	価格
■ 複層ガラス	2枚の板ガラスの間に封入された乾燥空気やアルゴンガス層が熱伝導を低く抑える為、単板ガラスの約2倍の断熱性能を持つ。 結露の防止・保温効果・省エネ効果 等で室内環境を向上させ、結露防止効果もある。組み合わせるガラスによって安全・防犯・防火性能を高められる ※防犯用に特殊フィルムを張った複層ガラスもある		★★ 2枚のガラス破りに若干手間取るなど単板ガラスよりは多少の防犯性能がある	★ ★	★ ★
■ Low-E 複層ガラス (遮熱高断熱タイプ)	室外側ガラスに Low-E 金属膜をコーティング（薄く色が付く程度）した複層ガラスで、真夏の日射熱を 外側で反射 させて50%以上カットして 冷房効果を高め 、冬は室内の熱を外へ逃がさない断熱効果による 結露防止効果 も発揮して年中通して快適な室内環境を保てる。さらに紫外線もカットするので畳やカーテンの日焼けも抑制出来る。夏場の強い日差しにお困りの窓に最適		★★★ ガラスが2枚である上に片側に金属膜をコーティングしてある為、破るのに手間がかかる	★ ★ ★	★ ★ ★
■ Low-E 複層ガラス (高断熱タイプ)	室内側ガラスに Low-E 金属膜をコーティング（薄く色が付く程度）した複層ガラスで、冬は太陽熱を通過させつつ室内の熱を逃げにくくして、窓面の冷え感も減り 暖房効果を高め て結露防止効果発揮する。夏場はクーラーの効いた 涼しい室温を外へ逃がしにくい ので快適に過ごせます。遮熱対策より冬場に日差しを取込みたい窓に最適		★★★ ガラスが2枚である上に片側に金属膜をコーティングしてある為、破るのに手間がかかる	★ ★ ★	★ ★ ★

Low-E： Low Emissivityの略で**低放射**を意味し放射熱の通過を低くする効果

* 固定資産税の優遇と一部助成金 *

バリアフリー工事等による所得税の減税はH22/12/31までですが、固定資産税の優遇措置についてはH22/3/31までとなっていたものがH25/3/31までに延長されています。(何れも申告が必要です)

*** 住宅のバリアフリー改修に伴う固定資産税の減額措置について ***

H19/1/1に現存する住宅について、H19/4/1からH25/3/31までの間に下記のような要件のバリアフリー改修が行われた住宅(居住部分が2分の1以上)について、100㎡分までを限度として翌年度の固定資産税の税額が3分の1減額されます。

(1) 次のいずれかの人が居住する既存の住宅(賃貸住宅を除く)

1. 65歳以上の人 2. 要介護認定又は要支援認定を受けている人 3. 障害のある人

(2) 次の工事で補助金を除く自己負担額が30万円以上のもの

1. 廊下の拡幅 2. 階段の勾配緩和 3. 浴室の改良 4. トイレの改良 5. 手すりの取付
6. 床の段差の解消 7. 引き戸への取り替え 8. 床表面の滑り止め化



*** 新築住宅にかかる固定資産税の助成について ***

一定の条件を満たす新築住宅は住宅部分の120㎡部分までについて、固定資産税額の2分の1に相当する額が3年度間(3階建て以上の中高層耐火住宅については5年度間)減額されていますが、それとは別に笠岡市では市内への定住を促進するための固定資産税の助成制度が出来ました。

【概要】

H21/4/1からH24/3/31までに台所・便所・浴室及び居室があり、利用上独立した住宅(店舗併用住宅等は延べ床面積の1/2以上が居住部分となっている事)で居住部分の床面積が50㎡以上280㎡以下の住宅を市内に新たに新築・購入した方へH22年度からH25年度に新たに賦課される固定資産税について下記①～④を全て満たす人へ固定資産税額の1/2相当額を3年間にわたり助成する制度。

【助成対象者】

- ① 笠岡市に10年以上定住する事の誓約が必要 ② 市民税の滞納のない人
③ その住宅を生活の本拠地とする人 ④ 最高100万円の笠岡市新築助成金の交付を受けていない人

※ この固定資産税の助成を受けるには、当該年度分の固定資産税を全額納付後必要書類を添付して自分で申請する必要があります。

参考: これとは別の笠岡市の住宅新築助成金(最高100万円)の交付条件の中には「工事契約日に満40歳以下」という年齢制限がありますが、この固定資産税の助成制度は年齢制限がありません。

(詳しいお問い合わせ先: 笠岡市定住促進センター 69-2377)



* 節水要領にご用心 *

水道代節約の為に、トイレタンク内にレンガを入れる・お風呂の残り湯をバケツで流すなどの方法を実践されているご家庭も多いかもしれませんが、これらの方法には危険が隠されています。

- ① レンガ等を陶器タンクに入れる際に、タンク内側にヒビが入ってしまう恐れ
- ② ハンドルのチェーンなどのタンク内の部品とが絡まり水が止まらなくなる等の恐れ
- ③ 製品毎に計算・設定された必要水量以下の洗浄水量だと、便器を通り抜けたように見えても、便器排水路奥～下水道本管までの途中の配管内で少しずつ詰まっていく可能性がある

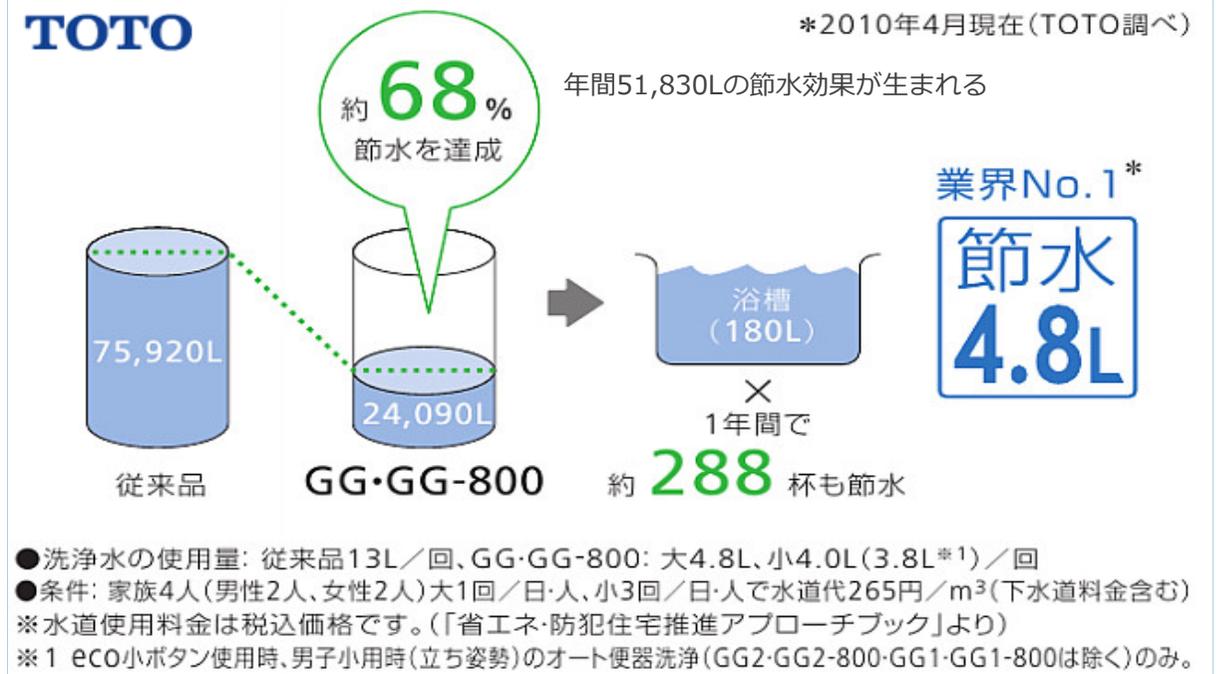


+ 使用水量の推移 +

下図は4人家族(男2人女2人)のご家庭で、大/小切替無しのトイレ(使用水量13L)から超節水トイレ(大:4.8L 小:4L 男小:3.8L)に取替えた場合の年間の洗浄水量の推移を示したもので、下記例では年間13,735円の節約になる事が分かります。

(下水道料金込単価265円/㎡・で試算)

※7月にリニューアルオープンしたTOTOの福山ショールームでは是非ご覧になって下さい ↑



水道代単価は市町村毎に異なり、笠岡市の場合ですと検針で16㎡を超えた分で60㎡までについては下水道料金込み単価=320円/㎡・(税抜き)ですので、上図と同じ条件で試算すると年間17,415円の節約につながり、2か月に1回の請求時の水道料金は現在より約2,900円安くなる計算です(税込)